

戦争の記録と映画・戦争映画の視点

戦争を問い続ける二大監督の来館決定！

いまこそ改めて、戦争について語る

映画上映＋トークを開催

7月12日(日)14:00～『戒厳令』上映 ＋ トーク:吉田喜重監督

【吉田喜重】1933年福井県生まれ。映画監督。主な作品に『秋津温泉』(1962)、『エロス+虐殺』(1969)、『戒厳令』(1973)、『人間の約束』(1986)、『鏡の女たち』(2002)などがある。全作品上映の大規模な回顧特集が、2008年パリ、2010年東京国立近代美術館フィルムセンターで開催される。著書『小津安二郎の反映画』(岩波書店)は芸術選奨文部大臣賞したほか、アメリカ、フランス、イタリア、ブラジル、中国の5カ国でも翻訳出版されている。平成12年度(第29回)川崎市文化賞受賞。

7月18日(土)14:00～ 『ゆきゆきて、神軍』上映 ＋ トーク:原一男監督

【原一男】1945年山口県生まれ。映画監督。主な作品に『さようならCP』(1972)、『極私的エロス・恋歌1974』(1974)、『ゆきゆきて、神軍』(1987)、『全身小説家』(1994)などがある。国内外の映画作家に大きな影響を与えている。2006年より大阪芸術大学映像学科教授。

【企画趣旨】本特集のみどころ

7月12日(日)から9月27日(日)にかけて、土日祝の全25日間に特集上映を開催し、終戦から70年目にあたる今夏、劇映画とドキュメンタリーを交え、さまざまな観点から戦争を検証します。博物館展示室の「戦時下の川崎」展示と併せて、川崎市・平和都市宣言への思いを新たにする機会といたします。

8月には「親子で見る戦争アニメ」や「戦時下の娯楽映画」での講演トークを行ないます。

※7月以降のプログラムについては、HPなどをご確認ください。

川崎市市民ミュージアム

川崎市中原区等々力1-2(等々力緑地内)

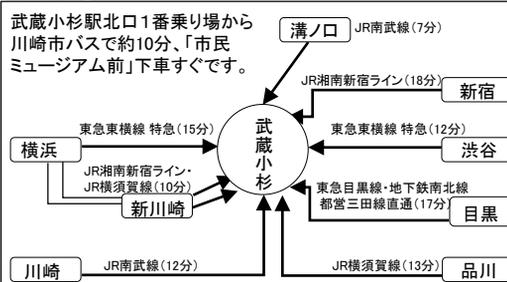
【電話】044-754-4500 【公式HP】<http://www.kawasaki-museum.jp>

【料金】一般:600円、大学生・高校生・65歳以上:500円

小中学生・市民ミュージアム友の会会員:400円

※その回の映画上映にご入場されたお客様が上映後の監督トークをご覧いただけます。(トークのみのご観覧はできません)

【アクセス】



終戦70周年記念

戦争の記録と映画 戦争映画の視点



写真=『戒厳令』 監督:吉田喜重

●7月12日(日) 2・26とは何だったのか

11:00- 『叛乱』 監督:佐分利信/1954年/115分

◎1936年に日本陸軍の一部が武装蜂起して政府要人を暗殺し東京都心を占拠した2・26事件にいたるまでの陸軍内部の葛藤を描く。

14:00- 『戒厳令』 監督:吉田喜重/1973年/110分

◎2・26事件を首謀した青年将校達に影響を与えたとして処刑された思想家・北一輝。不穏さの充ちる大正10年(1921)北一輝は苦悩しつつ血気盛んな若者達と向き合う。

※上映後、吉田喜重監督トークあり

●7月18日(土) ミリタリー・ディズプリン

11:00- 『真空地帯』 監督:山本薩夫/1952年/129分

◎狂信性に駆り立てられる集団心理のもと不条理に支配された陸軍の一般兵士達は部隊内での権力争いと暴力の連鎖に絡めとられていく。

14:00- 『ゆきゆきて、神軍』 監督:原一男/1987年/123分

◎ニューギニア前線で戦った奥崎謙三は、2人の隊員の戦病死が、実は上官による処刑だったと知り、真相を求めて元隊員たちを訪ね歩く。衝撃的ドキュメンタリー。

※上映後、原一男監督トークあり

●7月19日(日) 戦争末期的青春

11:00- 『雲ながるる果てに』 監督:家城巳代治/1953年/100分

◎昭和20年(1945)春、鹿児島の特攻隊基地。学徒出陣の海軍予備学生達は厳しい訓練を受けて特攻出撃していった。遺稿集に基づいて映画化。

14:00- 『肉弾』 監督:岡本喜八/1968年/117分

◎昭和20年8月、米軍上陸に備える作戦を前に最後の休日を与えられた学徒出陣の陸軍予備士官学校生は「何のために死んでいくのか」という理由を探す。

●7月20日(月・祝) もうひとつの戦禍

11:00- 『硫黄島』 監督:宇野重吉/1959年/88分

◎太平洋戦争の激戦地・硫黄島の生き残りだという男が新聞記者に自らの体験を語るが、やがて戦争体験の重荷を背負って生きる運命の過酷さが浮き彫りになる。

14:00- 『飼育』 監督:大島渚/1961年/105分

◎昭和20年夏、貧しい山村に米軍機が墜落した。村人たちは、搭乗していた黒人兵を納屋で“飼う”ことにするが……。大江健三郎の小説を映画化。

【お問い合わせ】川崎市市民ミュージアム 044-754-4500 / 公式サイト <http://www.kawasaki-museum.jp>

【料金】一般:600円、大学生・高校生・65歳以上:500円、小中学生・市民ミュージアム友の会会員:400円

※その回の映画上映にご入場されたお客様が、上映後の監督トークをご覧いただけます。

(トークのみのご観覧はできません)